

# 「令和6年能登半島地震」 被災地支援・募金報告



令和6年1月1日午後4時20分頃発生した「令和6年能登半島地震」では、甚大な被害が発生しました。コープぎふの店舗では1月5日から、宅配では1月3週から募金が始まりました。また、日本生協連からの呼びかけを受け、全国の生協から被災地へ入り、支援が始まりました。コープぎふからも1月29日～2月2日まで、岐阜西支所の後藤康宏支所長、西濃支所の尾関伸次副支所長が支援に参加しました。また、2月12日からはコープ共済加入者への対応として、共済推進部の長澤篤史さんが、そして2月19日からは要介護者の介護支援のため、介護事業部の安藤美千代さんと、ケアプランセンター各務原の長島豊さんが支援に参加しました。

## 支援報告

### 岐阜西支所

ごとう やすひろ  
後藤 康宏さん



主な支援は、コープいしかわ・のとセンターにて配達職員の同乗して、早く業務を終えるようにすることでした。私は七尾市内中心の配達支援を行いました。あまりニュースで取り上げられていない地域でも家屋の倒壊や道路の破損など、目を覆いたくなるような光景でした。

特に七尾市内は断水しており、水が無いことがいかに大変で生活に欠かせないものか身に染みて感じました。住宅街への配達時には、寒い時期ではありますが、ビニールプールが置いてある家が何件もあり、雨水をためて使用しているとのことでした。

今回、全国の生協から毎週、30名もの職員が集まり支援を行っています。困った時、助け合える関係が大切であり、自分も常にこういった想いをもっていきたく強く感じました。

### 西濃支所

おげき しんじ  
尾関 伸次さん



輪島市内は至るところで倒壊している家屋が道路を塞ぎ道路状況もかなり悪く、今も尚、土砂崩れで行方不明な方の捜索活動もされていました。ニュースでも流れた大規模火災の跡地や土砂崩れ、家屋倒壊の現場を見て言葉が出てこない中で唯一救われたのが、倒壊した家屋の前にいる組合員さんのご家族にお会いでき、組合員さんは無事で仮設住宅に移られたと確認できた事でした。

のとセンターでの支援は、配達同乗を行い倒壊した家屋が道を塞ぎ迂回をしながらの配達でした。職員自身が被災されて生活や今後に不安を持ちながら業務をしている姿を見て、継続的な支援と現状を伝えることが大切だと感じました。

### 介護事業部

あんどう みちよ  
安藤 美千代さん



### ケアプランセンター各務原

ながしま ゆたか  
長島 豊さん



長島さんと一緒に支援に向かいました。介護チームで役割分担し、私は主にシャワー浴介助をしました。1.5次避難所の方は要介護1から5の身体のご不自由な方ばかりで、認知症状のあるなし関係なく、みなさんやり場のない悲しみ、地震や先々への不安、縛られた生活やプライバシーのない環境へのストレス、帰宅願望、表現の仕方は違えどかなり不穏な状態です。ただただ寄り添い、傾聴し、すこしでもお気持ちの和らいでいただけるように丁寧に接することを心がけました。

### 共済推進部

ながさわ あつし  
長澤 篤史さん



共済のお見舞い活動を行いました。組合員さんから、「これまで家の被害の状況を誰にも言うことができず、ずっと我慢してきた。能登の知り合いで亡くなった方もいる。比べれば自分の家は残ったしマジだとは思ってたけど、やっぱりこれまで大変だった。今後のお金の心配などに今は頭が回らない。そんな中、生協さんが来てくれてこれまで我慢してきた事をいっぱい話すことができて本当にうれしかった」とお言葉をいただきました。

## 募金報告

2024年1月5日～2月20日までの募金額

36,681,787円

寄せられた募金は、日本生協連を通じて義援金として被災者へ届けられる他、支援金として被災地支援のための活動等に活用されます。

## コープぎふの取り組み

# CO-OP TOPICS

NEW INITIATIVES

1/27  
[土]  
・  
1/28  
[日]

## バスケットボールリーグの コープぎふマッチデーを開催しました!



OKBぎふ清流アリーナにて岐阜スーパースとさいたまブロンコスとの試合が行われ、コープぎふの組合員さん含め、両日合わせてたくさんの来場者が応援に駆け付けました。組合員から募集した選手と一緒に入場するエスコートキッズに参加した子どもたちは、「選手が大きかった!」「こんなチャンスなかなかないからうれしい」「ドキドキする」など話ながら笑顔で参加しました。

2/17  
[土]

## 西濃地域「地産地消のつどい」を 開催しました!



西濃地域の生産者、メーカーの皆さんと一緒に、地元の産品を紹介する「地産地消のつどい」を「JAにしみのふれあいホール」で開催しました。500名近くの来場者が集まり、商品を購入したり、試食や体験コーナーなどを楽しみながら地元生産者と交流しました。乳しぼり体験にはたくさんの人が並び、「なかなかしぼれない!」「難しい!」など声をあげながら体験していました。

## 2023年度 | 第9回

## 理事会だより (2 / 14)

### 1. 1月期決算について承認しました

単位：百万円

1月度事業結果	1月実績	予算差	累計実績	予算差
商品の供給高	2,431	1	23,722	111
総事業高	2,508	1	24,513	104
事業経費	482	-29	5,195	-241
経常剰余金	126	49	638	255
当期剰余金	88	34	447	179

組合員数 261,606名 計画比 99.1% (加入560名)  
出資金 50億5,944万円 一人当り出資金 19,339円

### 2. 住所不明組合員みなし脱退の処理について

「住所不明組合員の脱退手続きに関する規約」に準じて組合員の所在確認を行い、3年連続して郵送物が返送されるなど所在がわからない組合員(2023年度2,110名予定)について自由脱退とみなして、年度末に脱退処理の手続きを行うことについて確認されました。みなし脱退予定の組合員の出資金(出資預かり金含む)は預り金として2年間管理し、組合員から出資金の払い戻し請求がなかったときは、生協法23条に基づき、雑収入とします。所在が確認できた組合員には、ただちに再加入の手続きを行います。

### 3. 第45回(2023年)ハンドインハンド募金の結果

今年度のハンドインハンド募金は、街頭募金(16か所)、店舗に設置した募金箱、OCR注文用紙での募金の3種類で行われました。募金の合計金額は867,259円となりました。街頭募金では、昨年より多い16校の中学校・高等学校から生徒が参加し、大きな声で一生涯懸命に生きる姿がありました。

### 4. ぎふ農業協同組合との包括連携協定締結について

ぎふ農業協同組合(JAぎふ)と更なる連携を拡大するため、「豊かでくらしやすい地域社会づくり」に向けての包括連携協定を2月26日に締結しました。

これまで、芥見店内に「JAぎふおんさい広場」の販売ブースを設け、地元の野菜を食べたいという組合員の願いと、地元農業が持続的に発展することを目的に連携してきました。今後も同じ協同組合組織として連携・協力し、豊かでくらしやすい地域社会づくりに貢献することを目指します。



わたしの  
ひとこと

年齢とともに指の力がなくなってきました。ジャムの瓶、ペットボトルを開けるのに前とは違う不便を感じます。寂しい気持ちになるって友人と話していました。(50代/大垣市 ささげさん)

3月に入り寒い日もありますが、春らしい日も多くなりました。桜が咲く頃、孫の入園式が楽しみです。元気に大きくなってね。(60代/大野町 エルちゃんママさん)

わたしの  
ひとこと

